

# 下関市立大学広報



海峡の英知。未来へそして世界へ。

公立大学法人

## 下関市立大学

Shimonoseki City University

2017年7月1日 第82号

発行：下関市立大学広報委員会

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL. 083-252-0288

FAX. 083-252-8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>



## 入学式

### 平成29年度 第56回入学式

学部長 高橋 和幸

4月5日(水)に、第56回入学式が本学体育館で開催されました。本年度は、学部学生として経済学科212名、国際商学科212名、公共マネジメント学科67名の合計491名(うち留学生8名)、編入学生19名、また大学院生が3名で総数513名の新生を迎えました。

式は、放送部の徳長亮文君(国際商学科3年)と原田ありささん(国際商学科2年)の司会で進められ、学長告辞では、川波洋一学長が学生時代の姿勢として、多様な選択肢のなかからいろいろな組み合わせを作ることによって、勉学や人間形成において新たな発見や創造の可能性を切り開いてほしいということと、確立された知識を吸収すると同時に、答えのない問題を懸命に考えていく訓練をし、その習慣を身につけてほしいという二点を挙げ、新入生へのメッセージとしました。

そして、荻野喜弘理事長、前田晋太郎市長、戸澤昭夫下関市議会議長、栗原紹子後援会長から祝辞が述べられた後、公共マネジメント学科の佐藤樹梨さんと大学院経済学研究科の趙宇政さんがそれぞれ新入生代表の宣誓を行いました。

式の最後には、学生歌「青潮ゆたかに」を新入生全員で斉唱し、これからはじまる学生生活への希望と期待をあらたにしました。

今年は、桜が爛漫の時期ともかさなり、列席された多くの保護者のみなさんや来賓の方々、そして在学生や教職員に祝福される中での、すがすがしい式となりました。



### 理事長再任の挨拶

公立大学法人下関市立大学 理事長 荻野 喜弘

平成29年4月1日付けで、前田晋太郎下関市長より公立大学法人下関市立大学理事長に再任されました。任期は平成31年3月31日までです。

私は平成25年5月1日から理事長の職に当たってまいりましたが、前田市長からは、本学の更なる発展と下関市・下関市立大学・下関市経済界との連携による人材の育成を期待している、との言葉がありました。

これからの2年間は、本学の第2期中期計画(平成25年度～平成30年度)を締め括る2年間であり、第3期中期計画を準備する重要な時期に当たります。

この中期計画は、本学が掲げる、①教育と研究の一体性に基づく新たな知の創造、②東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究、③地域社会の知的センターとして地域に根ざした教育と研究、という3つの理念に基づくものです。

理事長の役割は、この3つの理念を堅持しつつ、第2期中期計画の完遂を目指して、ぶれることなく大学改革を継続的に進めることである、と考えています。そして、このことは市長の期待にも応えるものであります。

2年の任期の間、理事長としての役割を果たすために、微力ながら全力で職務に当たる所存しておりますので、学生、教職員、市民をはじめとする本学に関係するすべての皆様のご理解とご協力を心よりお願いいたします。



## 下 関 市 立 大 学 News & Topics

### 学友会執行部の活動について

第13代学友会長 経済学科4年 湯地 麻里子

(山口県立下関南高等学校出身)

学友会執行部は文化会、体育会、大学祭実行委員会、一般学生からなる、下関市立大学の活性化を目指す組織です。定期的に学生総会を開催し、本学の学生の皆さんがより良い環境で大学生活を送れるよう、多くの意見を聞き、大学側へ伝えて改善を求めたりするなど、学生と大学との架け橋のような役割を担っています。

4月には新入生歓迎パンフレットの配付、サークルセッションを企画・運営し、新入生に早く本学に馴染んでもらえるように努めています。また、3月には卒業パーティーを主催し、卒業生同士や先生との最後の交流の場として役立てていただいています。さらに学内での献血活動時には多くの方にご協力いただけるよう呼びかけを行っています。

本年度は文化会、体育会との連携を強化して昨年度までの課題をはじめあらゆる問題を解決させていきます。学生の皆さんの意見を多く反映させ、より公平な視点を持ち、本学の全学生が充実した大学生活が送れるように活発に活動していきたいと考えています。



### 文化会の活動について

第33代文化会長 国際商学科3年 徳長 亮文

(山口県立萩高等学校出身)

今年度の文化会は、学友会の皆さんと体育会の皆さんと共に、これまで以上に協力を強化し、学生の皆さんのキャンパスライフがより充実したものになるよう努めていきたいと思っています。それでは、その充実したキャンパスライフを送るために何が必要でしょうか。もちろん正解はありません。なぜならば、学生の人数だけそれぞれの答えがあるからです。しかし、数多くある答えの中に充実したキャンパスライフへの第一歩として、サークル活動が挙げられると思います。

文化会のサークル活動では、各サークルの自主性・独自性は、そのサークルに所属する学生によって創られます。そのため文化会所属サークルそれぞれの独創性も重んじ、より良いサークル活動が出来るようにサポートしていきたいと考えています。サークル活動に関する相談だけでなく、大学への意見も受け付けます。文化会室は月曜日・水曜日・金曜日の昼休みに開いていますので、気軽に文化会室へお越しください。



### 大学最大の学生団体「体育会」

第42代体育会長 経済学科4年 矢嶋 収

(兵庫県立宝塚北高等学校出身)

下関市立大学は学生数が2000名程の大学です。そのうち800名が体育会に所属しているので、体育会への所属割合は他大学と比較するととても高いと思います。その要因の一つに、各スポーツに精通した学生がさほど多くないことが挙げられます。よって、体育会系の部活動に参加するハードルは低いのですが、決して活動の質が悪いというわけではなく、全国大会へ出場する部も少なくありません。つまり、下関市立大学体育会は、所属しやすく、成長することのできる団体と言えます。

また、学内最大の学生団体に所属することで、大学を自らの手でより良く変えることも出来ます。体育会では、部の遠征にかかる費用を軽減するために補助金の交付を行い、また、体育会ホームページの作成や学内ソフトボール大会の企画などを行っています。体育会は学生生活をより魅力的にする学生団体です。



### 大学祭実行委員会の活動について

第56回大学祭実行委員長 経済学科3年 橋本 春道

(鳥取県立八頭高等学校出身)

私たち大学祭実行委員会は、本学大学祭である「馬関祭」の企画・運営を行っています。現在130名もの委員が在籍しており、大学祭の成功に向けて全員が一丸となって活動を行っています。また、地域に根ざした大学祭にするためにも、下関市内各所でのボランティア活動にも積極的に参加しています。その他にも入学式でのふく鍋作りや新入生歓迎行事である角島観光などの様々なイベントも企画しています。

本年度の馬関祭は「Action!-シダイシシ-」をメインテーマに掲げ、10月7日(土)～10月9日(月・祝)に開催する予定です。ご来場の皆様に喜んでいただけるよう、音楽アーティストやお笑いのライブ、恒例の打ち上げ花火や、昨年度地域の皆様に多数ご参加いただいたハロウィンナイトなどのイベントを企画しています。この馬関祭は、私たち大学祭実行委員会の1年間の集大成でもあります。たくさんの方にお越しいただきたいと思っています。



## 新任挨拶

特任教員 陳 明美

(中国語教育、日本語と中国語の比較、中国方言学)

青島大学国際教育学院から派遣され、1年次・2年次の中国語の授業を担当することになりました陳明美です。

私は中国語教育に携わって14年目になります。日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、韓国など20か国の留学生に中国語を教えてきました。また、語学留学生、学部生、大学院生の授業を担当してきました。授業内容は、初級、中級の総合・会話、閲読・作文・HSK対策などで、授業によっては、教育法を使い分け、学生が楽しく授業を受けられるように工夫してきました。青島大学においては、言語学科、文化交流学科の学科長を担当し、国内で開催される国際学会やシンポジウムに参加し、日本の多くの研究者と交流してきました。

私の研究テーマは対外中国語教育と研究、音声、文法と中国語方言です。論文「“非常”の中国語と日本語の比較」、「新泰方言の発声及び音韻の特徴」「他”の文法化過程”を発表したことがあります。陸慶和教授が編者である『コツコツと練習すること-成功につながる』という本の「文の成分、接続詞、助詞」の部分編集に参加しています。

これから1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



客員研究員 オーホノイ バトサイハン

(モンゴル近現代史)

皆さん、こんにちは。モンゴル国から来たバトサイハンと申します。この度、日本学術振興会の外国人招聘研究者として、10か月間下関市立大学にお世話になることになりました。

私はモンゴル近現代史を専門とし、社会主義時代に歪められてきたモンゴルの歴史を正そうと試んでいます。共産主義者は歴史を思想の武器として利用していたのです。私は近代モンゴルがいかんして誕生したのかを、20世紀初頭のモンゴル独立運動に対するロシア、中国、日本の影響から明らかにしようとしています。この目的のため、これまでロシアやイギリス、ドイツ、台湾などの公文書館で調査を行ってきましたが、この度は橘誠氏の招聘により下関市立大学において共同研究を行うことになりました。

下関が静かで、綺麗で、のどかな町であることは到着したその日から感じることができました。大都市のような喧噪はなく、遠くを眺めるにも視界を遮る高層ビルもありません。星のきらめく地平線を眺めて静かな夜をゆっくりと歩くのは気持ちがよく、故郷のモンゴルにも似ている気がします。このような下関での10か月を実りあるものになりたいと思います。



### 私のゼミ

連載企画

#### 国際経済問題の「なぜ?」の答えを求める

国際商学科4年 城野 友希

(長崎県立長崎北高等学校出身)

私は岡本ゼミで、国際政治経済学を学んでいます。国際政治経済学と聞くと、「日本のことも分からないのに国際に手を出しているのかな?」と感じるかもしれません。実際に研究を進める際は、より深いものにするために国や地域を絞ることになります。私は東アジア地域の中の中国に焦点を当てています。他のメンバーはオーストラリアや、日本と韓国、東京・ニューヨーク・ロンドン、東アジア地域などです。

ゼミに入ると、始めに分析方法として必要な理論を学びます。理論がわかっていると、現実の問題に理論を当てはめてスマートに分析することができるからです。自分の興味関心のある問題にはどの理論が利用可能なかを考え抜くことは難しいですが、その分楽しいです。

岡本ゼミでは、基本的に自由に全員が異なる研究テーマを決めます。例えば、安全保障問題、多文化共生と移民政策、難民問題、国際課税問題です。3年生の12月から本格的に卒業論文執筆に向けて準備を始めます。合宿での発表などもあり、非常に仲が良く楽しいゼミです。



### 私のゼミ

連載企画

#### 様々なことを地図や地理的視点で捉える

経済学科4年 日隈 香葉絵

(大分県立森高等学校)

佐藤(裕)ゼミでは、地理的な観点から様々なテーマを研究しています。各自の関心のある物事について、先行論文を読み、それをまとめ、全員で議論します。また、地図を作ったり統計データの処理をしたりしています。例えば、GIS(地理情報システム)などを使って、地図を描いたり、情報の分析を行ったりしています。

そして勉強したことを基にして3年生の冬にフィールドワークを行います。私たちは農業、文化、景観まちづくり、観光、人口の5つのグループに分かれ、萩へ行きました。それぞれのテーマについて現地での聞き取り調査や、萩城下町を歩いて得た情報を基に、報告書を作成し、プレゼンテーションを行いました。プレゼンではGISや統計データを用いて分かりやすく説明することに気がつけました。大変でしたが、グループで協力し何とかまとめることができました。

4年生は各自の関心に基づき卒業論文を作成します。私は地元の福祉施設の働き手の確保について調査しようと思っています。現在は参考資料を集めたり、調査対象地域のことについて調べたりしています。



## 下関市立大学 News &amp; Topics

## 第52回卒業式

3月25日(土)、本学体育館において、第52回卒業式が行われました。学生歌「青潮ゆたかに」を斉唱した後、経済学科193名、国際商学科188名、公共マネジメント学科61名、大学院生4名の計446名に学位記が授与されました。

川波学長は、「先の読めない不確実な時代だからこそ、勉学において蓄積した知識をさらに深め、磨きをかけ、これからの激動の時代を生き抜く知恵と力を身につけてほしい。」と激励の言葉を贈られました。理事長、来賓祝辞に引き続き、各種表彰が行われました。その後、卒業生総代として、国際商学科の福島慶子さんが、「大学4年間を通じて、欠点のない人間はいない、お互いに支えあい協力すれば、一人ではできないこともできるのだと学んだ。関わってくれた全ての人に感謝したい。」と謝辞を述べました。

式の終了後は、卒業生と教員が集い、市内のホテルでにぎやかな祝賀会が開催されました。



## 油断することなく頑張ります

経済学科2年 西川 和希

(広島市立基町高等学校出身)

このたびは特待生として表彰され、非常に光栄です。最初は大学の勉強とはどんなものかと不安を抱いていましたが、しっかりと授業を受け、課題などをこなしていくうちに段々とペースを掴みました。そして迎えた前期試験では学んだことを出し切り、成績も満足いくものになりました。後期もこの調子で頑張ろうと思い、前期のままペースを崩さないように努力しました。しかし、後期は慣れによる気のゆるみか前期よりもやや成績を落としてしまいました。油断があった自分を不甲斐なく思い、反省しました。結果として、特待生の認定をいただけたことは大変ありがたく光栄に思います。しかしまた、ここでの油断は禁物であり、今後はさらに学問レベルを向上していかなければならないと考えています。また学問だけでなく徳の高いバランス感覚のある大人になることも重要だと思います。今後も学問はもちろん様々な経験を積むよう、油断することなく一層の努力精進をいたします。



## 下関市長選挙 公開討論会主催にあたって

国際商学科3年 平松 優希

(岡山県立倉敷古城池高等学校出身)

平成29年3月の下関市長選挙に際し、2月15日に下関市生涯学習プラザで市長選立候補予定者による討論会を企画しました。立候補予定者が一堂に会し、学生からの質問に答えていただきました。

選挙前に行われた唯一の討論会であり、立候補予定者の声を500名の下関市民に届けられたことは大きな成果でした。しかし、反省点もあります。一つは、参加者の年齢層です。参加者の大半は社会人の方々に、学生を中心に若い世代の参加を促す工夫が必要でした。もう一点は、司会進行についてです。司会者が事実関係や重要なポイントをおさえた上で質問しなければ、討論は正しく進まないことを学びました。

討論会の中で、個人的に最も印象的だったのは、「下関は歴史のあるまち、先代が遺してきた遺産をどう捉え、どう活かすか。下関市政の観点は、そこにある。」という発言です。歴史を活かしつつ、新しい下関を考えることが大切だと感じました。最後になりましたが、多くの仲間や市民の皆様をサポートいただき、この会は実現しました。本当にありがとうございました。



## 留学生歓迎会を終えて

国際交流会ともだち部長 公共マネジメント学科3年 上船 希

(鹿児島県立鹿屋高等学校出身)

4月28日(金)に、国際交流会ともだち主催の留学生歓迎会を開催しました。当日は留学生や学内参加者だけでなく、多くの外部のお客様も来ていただきました。

今回、例年とは異なり厚生会館2階での開催となったため少々戸惑うところはありませんでしたが特に大きな問題もなく留学生歓迎会を終えることができました。国際交流班や学生支援班のお力添えのおかげだと思います。私たち国際交流会ともだちのメンバーも当日会場にお越しくださった皆様とお話することができました。皆様が楽しそうにお話し、終始明るく楽しい雰囲気であったため、今回の留学生歓迎会は成功だったのではないかと思います。

私たち国際交流会ともだちは、今回の留学生歓迎会の他にも留学生や外部の方と接する機会の多いサークルです。ご縁がありこの下関市立大学に来られた留学生の方に「留学先がこの大学でよかった。」と思っていただけるようにこれからも尽力していきたいと思っています。



## 下関市立大学 News & Topics

### マレーシアでの国外研修を終えて

教授 土屋 敏夫

2016年4月から1年間、マレーシアのUniversiti Teknologi MARA (UiTM) に滞在してきました。UiTMはマレーシアにある13州全てにキャンパスを置く大学です。本部はシャー・アラム・キャンパスに置かれ、私が在籍したFaculty of Computer and Mathematical Sciencesもこのキャンパスにあります。シャー・アラム市はセランゴール州の州都であり、また観光地としても知られています。ランドマークである巨大なモスク（通称ブルーモスク）には、毎日多くの観光客が訪れます。シャー・アラム・キャンパスは、このブルーモスクを見下ろす小高い丘にある景観の素晴らしいキャンパスでした。

このような環境で、マレーシアにおける感性工学研究の第一人者であるAnitawati Mohd Lokman先生およびスタッフの方達と感性工学の共同研究を行ってきました。私の担当はデータ分析が中心でしたが、海外での実践的な研究に触れることができたのは大きな収穫でした。今後は分析結果をまとめ、さらに共同研究を進めていく予定です。



### 国内研修—坂上の図書館と崎陽のざぼん

教授 叶堂 隆三

2016年10月から翌年の3月まで、長崎純心大学で研修する機会を与您いただきました。研修の目的は、「移動と定住における類縁関係の発動と制度化に関する研究」で、大学の早坂記念図書および長崎県立・市立図書館での資料の閲覧・収集、さらに長崎県内で聞き取り調査を実施しました。このうち早坂記念図書所蔵の資料（機関紙の全号）は日本で唯一であり、半年間かけて1号から最新号までを閲覧をしました。



研修先の長崎市は下関市から200km強の場所で、国内研修の期間に市大の同僚や学生の訪問がありました。そうした訪問を利用して、長崎市域を博物館に見立てた観光文化活動（長崎さるく）の企画者への聞き取り、長崎周辺部・長崎港沖の島嶼地区への踏査を行なうことができ、地域研究の関心の幅が広がるとともに「地域問題」等の授業に役立つ知見を得ることができました。

また、長崎純心大学の指導教授のご好意で、長崎くんちを観覧席から見学することができました。長崎人の地域愛と伝統の保持の取り組み、また外部の人を受け入れるホスピタリティに接することができました。

### 科学と社会「新通史フォーラム」の再稼働

教授 川野 祐二

昨年度、私はある研究チームを復活させました。1980年代から断続的に活躍してきた「科学技術の社会史」を研究するチームです。科学史家や科学技術政策者の間では「新通史フォーラム」もしくは単に「通史」と呼ばれています。



この研究チームは5年前に科学史家の吉岡斉を代表にして、約150章からなる5巻本『新通史：日本の科学技術—世紀転換期の社会史1995年～2011年（全4巻+別巻）』を刊行しました。

私は主要メンバーとともに、その続編をつくるために「新通史フォーラム」を復活させました。東日本大震災と福島原発事故以降の「日本の科学技術と社会」を歴史的に総括するためです。今回のプロジェクトは、我々が命名した「脱成長社会」に象徴される2012年から2020年までを取り扱います。

幸先の良いことに先日、日本科学史学会から我々の前回作に「特別賞」を頂きました。これを契機に優秀な研究者をリクルートし、前回作に劣らぬ良質な研究成果を出版します。これから先の約5年間、プロジェクトの完遂に身命を賭す覚悟です。

## 自著を語る

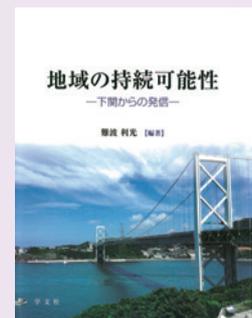
連載企画

### 『地域の持続可能性—下関からの発信』

下関市立大学教授 難波 利光

（編著 学文社 2017年3月）

本書は、吉津直樹前学長のものと、平成27年度に下関市立大学創立60周年事業実行委員会を立ち上げ、事業の一環として刊行されたものである。341頁、20章からなり、第1部地域経済と地域発展、第2部大学教育と住民参加、第3部20世紀初頭における『下関英国領事館報告』を



を通してみた下関の経済社会文化事情の3部構成である。多大な内容にできたのは、日頃から地域研究に携わっている先生が多くおられ、学生を地域に引率し教育を行っている成果であると思われる。

下関市は、平成17年に市町村合併を行い、山口県で唯一の中核市となったが、今後は多くの社会資源を有効活用することにより、持続可能性のある自治体になり得ると考えられる。そのためには、どのように地域の需要が変化し、行政や企業は何を供給すべきかを考えることが必要である。また、市民が地域社会にとって何が必要かを考える良い機会になれば幸いである。

## 国際交流

## 安徳天皇正装参拝

大学院経済学研究科2年 路 媛媛

(青島大学・中国山東省出身)

5月2日(火)に海峡まつりの開幕として、安徳天皇正装参拝の行事が赤間神宮で行われました。下関ならではの伝統行事に参加したいという気持ちで応募しました。非常に盛大な儀式でいい思い出になりました。

朝11時ぐらいから私達の着物の着付けが始まりました。何回か着物を着たことがありますが、振袖を着るのは初めてで、わくわくしながら着付けをしていただきました。一人の留学生に大体3人の方がついて丁寧に着付けをしていただくわけですが、その親切さに感心しました。その後、自分の着物に会うヘアスタイルをスタイリストさんにセットしていただきました。出来上がりは素晴らしく、一気にテンションが上がりました。

いよいよ本番です。特設の「天橋」を渡って参拝するのですが、観光客がたくさん来ていたので、出る前は大変緊張しました。しかし、全国から来たカメラマン達が「美しい」と褒めてくださり、少し楽な気持ちで行事に臨めました。

このようなイベントに参加してよかったです。下関や日本の歴史をさらに理解できるようになりました。それに、一緒に参加した各国の留学生達と交流しながら、日本文化を体験することもできました。忘れられない思い出になりました。

防災ツアーに参加しました  
-「居安思危」を意識しよう

国際商学科2年 王 怡琳

(中国・河南省出身)

5月28日(日)に新入留学生と留学生チューター合計17名が防災ツアーに参加しました。路線バスでの移動でしたので、出発する前にバスの乗り方や乗車マナーを再確認しました。海響館前のバス停に到着し、徒歩で下関市消防防災学習館「火消鯨」に向かう途中、唐戸地区についての説明も受けました。

消防防災学習館では、担当の方から火事や地震発生時の対応方法を説明してもらった後、119番の通報体験や消火体験、救急体験などの模擬体験をしました。

今回の防災ツアーを通じて、天災に備えることの大切さがよく理解できました。確かに、地震や火事などの天災はいつ起こるか分からないので、いざという時に慌てないために備えておくことが大事です。今は平和な生活でも、「居安思危」という意識を無視すべきではないと思います。また、防災に関する知識を身につけるとともに、新入留学生とのコミュニケーションもうまくできました。いい体験だと思います。これからも留学生と留学生チューターとの交流ができるチャンスを作りたいと思います。

第1回日本にいながら世界を知ろう!!  
～Steven語るアメリカ留学とは～

国際商学科4年 小野 勇真

(兵庫県立明石西高等学校出身)

4月24日(月)に行われた「第1回日本にいながら世界を知ろう!!」に参加しました。1年生を中心に30名ほどの学生が参加し、これから真剣に英語に取り組もうとする新入生、留学を志す学生等が刺激を受け、昼休みの時間を有意義に過ごしました。

アメリカ、ピッツバーグにある下関市立大学の協定校であるコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ教育自治体で国際教育学部長をされているスティーブン・ヘイルズ教授からアメリカへの派遣留学や現地での生活、日本とは異なる授業の様子について様々なお話を聞くことができました。新設された建物や下関とは異なるキャンパスライフに学生たちは心躍らせていました。

日本では普段、先生から一方的に講義を聴くことが中心となりますが、アメリカや海外では学生が頻繁に質問や意見を投げかけ、より積極性が求められる環境です。終了した後は学生が積極的にヘイルズ教授に質問をしている姿が見受けられました。

今回のイベントを通じて、これから多くの学生が下関から世界に羽ばたいてくれることを願っています。



## ～地球の未来のために～

## 留学生たちと環境みらい館を見学に行きました

経済学科4年 謝 愛聡

(中国・山東省出身)

今、私たちが生きている環境は思った以上の速さで変化して、空気汚染や水汚染などの環境危機を迎えようとしています。近代以来、繰り返して行われてきた私たち人類の経済的な活動が、こうした状況を引き起こしてしまっていることは間違いのない事実です。いまこの瞬間にも、世界各国では様々なことが起こっています。現代社会の「経済成長優先」の政策のため、引き起こしてきた様々な環境問題。その原因は何なのか、対策はどこまで進んでいるのか、環境問題は今どんな局面にあるのか。

いろいろな疑問を持ちながら、留学生たちと環境みらい館を見学に行きました。最初にビデオを視聴してゴミがどのような手段で分別して焼却されるのか焼却施設や破砕施設の仕組みを勉強しました。そして、資源ごみ処理施設の中央制御室では資源ごみが処理されていく様子を見ました。日本人の環境保護意識の高さや資源の再利用に対する意欲に、私たちはびっくりさせられました。みんな、環境保護に尽力する決意をしました。今回の活動を通じて、留学生と留学生チューターの交流を深める良い機会になりました。



## 2017年度入学者選抜実施状況

学科	入試種別		定員	志願者	受験者	合格者	実質倍率	入学者	
経済学科	推薦	全国	27	87	87	31	2.8	31	
		地域	A	29	39	39	30	1.3	30
			B						
	一般選抜	前期	52	203	189	71	2.7	63	
		中期	83	1536	895	306	2.9	87	
	帰国子女		2	0	0	0	-	0	
	社会人		2	0	0	0	-	0	
	外国人留学生		若干名	5	5	3	1.7	1	
第3年次編入学		8	20	19	9	2.1	7		
国際商学科	推薦	全国	27	74	74	27	2.7	27	
		地域	A	29	34	34	31	1.1	31
			B						
	一般選抜	前期	52	337	323	80	4.0	46	
		中期	83	1466	794	300	2.6	102	
	帰国子女		2	0	0	0	-	0	
	社会人		2	0	0	0	-	0	
	外国人留学生		若干名	19	18	10	1.8	6	
第3年次編入学		8	19	16	9	1.8	8		
公共マネジメント学科	推薦	全国	7	17	17	7	2.4	7	
		地域	A	8	13	13	8	1.6	8
			B						
	一般選抜	前期	16	101	92	27	3.4	22	
		中期	27	793	430	101	4.3	29	
	帰国子女		1	0	0	0	-	0	
	社会人		1	0	0	0	-	0	
	外国人留学生		若干名	4	4	2	2.0	1	
第3年次編入学		4	17	12	5	2.4	4		

## 2017年度合格者出身校

北海道	北広島、札幌光星、千歳	
宮城県	古川学園	
東京都	穎明館、科学技術、桐朋	
神奈川県	大磯、追浜	
新潟県	新発田	
富山県	高岡西	
福井県	羽水、武生、敦賀、敦賀気比、福井工業大学附属福井、藤島	
長野県	諏訪二葉	
岐阜県	大垣南、各務原西、可児、加茂、岐山、多治見北、中津、長良、羽島北、美濃加茂	
静岡県	伊東、掛川西、掛川東、佐久間、静岡学園、静岡市立清水桜が丘、浜松湖東、袋井	
愛知県	愛知、愛知啓成、安城、岩津、大府東、岡崎城西、岡崎西、木曾川、高蔵寺、松蔭、星城、瀬戸、中部大学春日丘、豊田、豊田西、名古屋、名古屋大学教育学部附属、西尾東、半田東	
三重県	上野、学法津田学園、川越、津西、津東、名張西、久居、松阪、四日市南	
滋賀県	東大津、八日市	
京都府	鴨沂、乙訓、桂、亀岡、京都橘、嵯峨野、城南菱創、塔南、南陽、西城陽、西舞鶴、日吉ヶ丘、福知山成美、峰山、宮津、桃山、洛西、龍谷大学付属平安	
大阪府	上宮太子、追手門学院、大阪学芸、大阪国際大和田、大阪青凌、大阪桐蔭、大谷、開明、北千里、咲くやこの花、常翔学園、城南学園、千里青雲、高槻、浪速、箕面自由学園	
兵庫県	相生、明石北、明石城西、尼崎（市立）、尼崎稲園、伊丹北、小野、加古川北、加古川西、川西明峰、近畿大学附属豊岡、神戸鈴蘭台、須磨学園、宝塚北、宝塚西、滝川、龍野、津名、東洋大学附属姫路、豊岡、西宮（県立）、西宮北、西宮東、西脇、白陵、東播磨、姫路飾西、姫路商業、姫路東、姫路南、兵庫、北条、報徳学園、御影、柳学園、山崎	
奈良県	橿原、橿原学院、聖心学園、智辯学園、帝塚山、天理	
和歌山県	開智、向陽、新宮、星林、耐久、田辺、日高、和歌山信愛	
鳥取県	倉吉西、倉吉東、境、鳥取城北、鳥取東、八頭、米子北、米子東	
島根県	飯南、出雲、大社、大東、浜田、益田、松江北、松江東、松江南、三刀屋、矢上	
岡山県	朝日塾、井原、岡山朝日、岡山一宮、岡山学芸館、岡山城東、岡山操山、岡山東商業、岡山芳泉、笠岡、勝山、倉敷天城、倉敷古城池、倉敷商業、倉敷青陵、倉敷南、金光学園、西大寺、清心女子、瀬戸、総社、玉島（県立）、津山、津山東、明誠学院	
広島県	安芸府中、安芸南、安佐北、盈進、尾道北、尾道商業、海田、賀茂、神辺旭、祇園北、銀河学院、近畿大学附属広島（東広島校）、呉三津田、呉宮原、高陽、呉港、山陽女子園高等部、庄原格致、崇徳、武田、忠海、西、沼田、廿日市、広、広島、広島井口、広島観音、広島国際学院、広島国泰寺、広島大学附属、広島皆実、福山、福山鞆陽、福山誠之館、府中、府中東、舟入、美鈴が丘、御調、三原、三次、基町、安古市	
山口県	厚狭、岩国、宇部、宇部中央、宇部フロンティア大学付属香川、小野田、下松、熊毛南、慶進、サビエル、下関中等教育、下関工業、下関商業、下関短期大学付属、下関中央工業、下関西、下関南、新南陽、田部、長府、徳山、豊浦、西市、野田学園、梅光学院、萩、早鞆、光、響、防府、防府商工、豊北、山口、山口中央	
徳島県	阿波、池田、海部、城東、城ノ内、徳島北、徳島市立	
香川県	香川県大手前、香川誠陵、高松北、高松桜井、高松西、土庄、三木	
愛媛県	今治北、今治西、今治東、宇和島南、大洲、済美、丹原、土居、東温、新居浜西、新居浜東、新田青雲、松山北、松山商業、松山中央、松山西、松山東、松山南、三瓶	
高知県	高知追手前、高知学芸、高知西	
福岡県	朝倉、育徳館、糸島、香椎、香住丘、嘉穂、輝翔館、九州国際大学付属、九州産業大学付属九州、九州産業大学付属九州産業、近畿大学附属福岡、鞍手、敬愛、高稜、小倉、小倉商業、小倉西、小倉東、小倉南、新宮、須恵、精華女子、西南学院、西南女学院、青豊、田川、筑紫、筑前、筑陽学園、東筑、常磐、戸畑、中間、中村学園女子、直方、柏陵、東筑紫学園、東福岡、福岡工業大学附属城東、福岡大学附属若葉、福岡中央、福岡舞鶴、北筑、三池、三井中央、京都、宗像、明光学園、門司学園、門司大翔館、八幡、八幡南、山門、八女、八女学院	
佐賀県	伊万里、小城、鹿島、唐津東、佐賀北、武雄、致遠館、鳥栖	
長崎県	岐岐、諫早、大村、海星、上五島、口加、五島、佐世保北、佐世保西、佐世保南、島原、西陵、聖和女子学院、鎮西学院、長崎北、長崎南山、長崎日本大学、長崎東、長崎南、猶興館	
熊本県	阿蘇中央、宇土、鹿本、熊本マリスト学園、第一、第二、東海大学付属熊本星翔、東棟、人吉、文徳、水保、ルーテル学院	
大分県	宇佐、臼杵、大分雄城台、大分東明、大分西、大分豊府、大分舞鶴、大分南、杵築、佐伯鶴城、高田、中津北、中津南、日田、別府鶴見丘、由布	
宮崎県	五ヶ瀬、小林、日南、日南学園、延岡、延岡星雲、日向、日向学院、鵬翔、都城西、宮崎北、宮崎第一、宮崎西、宮崎南	
鹿児島県	伊集院、出水、大島、鹿児島玉龍、鹿児島中央、鹿児島南、加治木、加世田、鹿屋、錦江湾、甲南、国分、志布志、尚志館、樟南、川内、武岡台、明桜館、与論	
沖縄県	名護、那覇、那覇国際、普天間	

■平成29年度予算 (単位：百万円)

	区分	金額
収入	運営費交付金	216
	授業料等	1,116
	入学金	120
	入学検定料等	65
	事業収入等	28
	寄附金	3
	補助金	0
	目的積立金取崩額	28
	計	1,576
支出	一般管理費	297
	人件費	1,054
	教育経費	151
	研究経費	42
	教育支援経費(図書館)	32
	計	1,576

■行事記録(平成29年3月～6月)

- 3月 6日 一般選抜(前期日程)合格発表
- 8日 一般選抜(中期日程)
- 11日 大学院選抜(2次試験)
- 21日 一般選抜(中期日程)・大学院(2次)合格発表
- 25日 卒業式
  
- 4月 4日 新入生プレイズメントテスト  
在学学生オリエンテーション  
健康診断(～14日)
- 5日 入学式  
新入生保護者説明会  
大学院生新入生オリエンテーション  
履修事前エントリー(～6日)
- 6日 新入生オリエンテーション(～7日)  
新入留学生環境みらい館見学
- 7日 履修登録開始(～14日)
- 10日 春学期授業開始
- 24日 第1回日本にいながら世界を知ろう!!
- 26日 前期授業料納入期限
- 28日 新入留学生歓迎会
  
- 5月 12日 特待生表彰式
- 25日 市民大学公開講座(春学期)開講
- 28日 新入留学生防災体験
  
- 6月 1日 開学記念日  
第1回共創サロン
- 8日 地域共創研究報告会
- 22日 高校教員対象入試説明会

下関市立大学  
オープンキャンパス2017

8/5(土) 8/6(日) 10/1(日)\*  
10:00～(受付9:30～)

★参加者全員にオリジナルグッズプレゼント!!  
★無料ランチ券配付(8月のみ)

【全体説明】

- 大学概要：本学の特色などを紹介します。
- 入試説明：今年度入試の概況、来年度入試について説明します。
- 就職状況：就職状況やサポート体制を解説します。

【模擬講義】

本学の教員が、高校生の皆さんに日頃の授業をわかりやすく講義します。

【語学体験】

英語・中国語・朝鮮語の初歩的なレッスンなどを行います。

【小論文対策講座】

本学の小論文試験の傾向と対策について講義します。

【個別相談】

入試や大学生活、就職など、いろいろな疑問に教職員がお答えします。

【市大生と語ろう】

授業やサークル、アルバイトなど、在学生の生の声が聞けます。

【学内施設ツアー】

学生とおしゃべりをしながら、学内を散策します。

【学生食堂】無料ランチ(8月のみ)

学食の人気メニューが味わえます。

■無料送迎バス運行(8月のみ)

最寄駅(JR 幡生駅・JR 新下関駅(新幹線・東口))から運行。

※10月1日はプログラムの内容が異なります。詳細はHPをご覧ください。



模擬講義

個別相談



学内施設ツアー

学生食堂

スマートフォンサイトが完成

本学の公式ホームページがスマートフォンに対応しました。PCサイトと同様に、スマートフォンでも公式ホームページが見やすくなりました。

下関市立大学

